

ハンググライダー新人戦 2015

大会要項

1: 公認大会

JHF 公認大会とする

2: 参加資格

JHF フライヤー会員証が有効な者、JHF 技能証 HG A 級以上の者、各自の指導教員に参加許可を得られた者、心身共に健康なもの、高高度フライト 50 本以内の者

3: 参加機体

F.A.I.クラス 1 に限る。使用機体は原産国の運用限界が明記された物とする

4: 参加機体の変更

原則として、同機種・同サイズとする

破損により修理不能の機体変更は、競技委員長の判断により他機種・他サイズのものに変更することができる

変更の際は、競技委員長にその旨を伝え、機体検査を受けること

5: 装備

ヘルメット、パラシュート(180 日以内にリパックされたもの)、サブライン、ロック付きカラビナを必ず装備すること

飛行中はスカイレジャー無線を使用する

6: フライトの成立及び大会成立

フライトの成立は各クラスの規定により決定する

最低 1 本のフライト成立で大会成立とする

7: 順位の決定

各フライトでの得点を 14 項の得点計算方法によって決定し、最も点数の高いフライトの点数を順位決定に採用する。ただし、点数が同列の場合、ターゲットとの距離の近い方を上位とする。

8: 大会役員の権限

大会中は、大会役員の指示に従わなければならない

競技に支障を来す行為をした選手は、大会役員の判断でその日のフライトを失格或いは大会失格とする場合がある

9: フライト失格

雲中飛行・飛行禁止空域フライト・空中接触・フライトルール違反の他、危険な飛行と判断される場合そのフライトを失格とする場合がある

10: 大会失格

危険行為・不正行為・飛行禁止空域内ランディング・大会規定に違反した選手は、大会役員会に諮り大会失格とする場合がある

11: 事故及び損害賠償

大会期間中、万一事故・傷害や損害が生じた場合、大会規定・エリアルールに則り本人の責任に於いて速やかに処置し、本部に報告すること

又、主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償などの請求を決して行わないこと

12: 抗議

抗議申し立ては、トラブル発生後一時間以内に文書で供託金 20,000 円を添えて競技委員長に提出すること

13: 公式掲示板

公式掲示板を大会本部及びテイクオフに設置し、当日のフライト内容及び成績などを発表するので、選手は公式掲示板を確認すること

14: 得点計算方法

得点は以下の式により計算される。距離計測やランディング形態の判断は大会実行委員が行う。

$$(A + B) \times C = (\text{得点})$$

A: (距離得点): 最初に身体の一部が接地してから安全に停止するまでの全軌跡中最もターゲットから離れた点と、ターゲット間の距離を計測する。計測は 10cm 単位で行う。

0~1m	1~3m	3~6m	6~10m	10~15m	15~20m	20~30m
700	600	500	400	300	200	100

B: (セーフティボーナス): ベースバーあるいはセーフティホイールも膝もつかず両足で立った場合 300
ベースバーあるいはセーフティホイールが地面についたが両足で立った場合
200
その他の場合 0

C: (セーフティ係数): 通常 1
ボディラン、ノーズが地面に触れた場合 0.5
身体や機体を損傷した場合 0